できないことは補っていけばいい
これが共生社会

～誰もが社会貢献できる可能性

「この子でもできる」　から　「この子だからできる　へ」　～

京都府立向日が丘支援学校

NPO法人 支援機器普及促進協会

理事長　　高松　崇

自己紹介

主な活動と経歴

本年度

京都市教育委員会　総合育成支援課　専門主事

京都府 特別支援教育京都府専門家チーム（宇治支援学校SSC）

ＮＰＯ法人　支援機器普及促進協会　理事長

昨年度以前

京都市　呉竹総合支援学校・東総合支援学校　特別非常勤講師

京都市　携帯電話市民インストラクター

京都市　ＩＣＴ活用支援員　（総合支援学校ICTコーディネーター）

京都市　総合育成支援員　（発達障害児支援）

京都市　精神障害者授産施設　京都市朱雀工房　統括職業生活支援員

京都市　地域若者ｻﾎﾟｰﾀｰ　（引きこもり支援）

京都府教育委員会　社会教育委員

京都府高等技術専門校　在職者訓練インストラクター

中小企業基盤整備機構　経営改善ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ

私も、京都府立向日が丘支援学校　高等部1年生の三男がおります

18番テトラソミー
140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常　（**18**番染色体が**4**本ある病気です）
の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりました

2019.11.6　読売新聞　教育ルネサンス

2019年(令和元年)11月6日(水曜日)　読売新聞

No.2450 教育ルネサンス　学びの未来 3

新聞@スクール

障害に応じて技術活用

「理央ちゃん、もうちょっとや。緑はそのすぐ隣」

京都市立東総合支援学校で、小学部4年の野田理央さん(10)の視線の先にあるのはパソコン画面だ。視線で動かすポインターを筆代わりに、選んだ色を柿の下絵に塗っていく。

理央さんは、全身の筋力低下などが起きる難病・脊髄性筋萎縮症で、ほとんど体を動かせない。人工呼吸器をつけ、学校でもベッドの上で学ぶ。

昨年、学習などを自分のペースでできるようにと、視線の動きを読み取る装置を付けたパソコンを使う練習を始めた。

郷教諭（右）の助言を受けながら、視線だけでパソコンを動かす練習をする野田理央さん（10月8日、京都市立東総合支援学校で）

同校が視線入力装置を導入したのは3年前。「重い肢体不自由の子でも、意見を述べたり、グループ学習で発表役を担ったりと、学びの幅が広がった」と同校の井尻誠明教頭(52)は感じる。

音楽の時間が好きという理央さんは、ピアノをパソコン上で弾けるようになるのが目標だ。担任の郷未央教諭(33)は「自分のペースで学べるのがいい。頑張り屋さんだから、算数も国語も得意になるでしょう」と期待する。

障害に応じたソフトやアプリ活用の助言などを行うNPO法人・支援機器普及促進協会（京都府長岡京市）によると、視線入力装置の価格は、かつては150万円程度だったのが今や1万5000円～2万円程度。

一方、こうした技術を活用する知識や経験を持つ教諭は全国的に少なく、協会の高松崇理事長(57)は「学校で障害者が使えるソフトやアプリの利用環境は、十分とは言えない。障害を持つ子ども向けの放課後デイサービスの方がICT（情報通信技術）機器やソフトなどが充実している場合もあり、外部との連携を進めるべきだ」と指摘する。

広島市立己斐上中学校の特別支援学級は昨年度から、ICTに詳しい教諭を専任で置き、担任を補佐する。発音が明瞭でない生徒には、言いたいことをタブレット端末に入力させ、読み上げ機能を使って発音練習をさせるなど、障害の程度や内容に最適なソフトやアプリを見極める。

先端技術は、肢体が不自由な生徒の活躍の場も広げる。

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会は今年2月、出場者の音声などをクラウドでつなぎ、自らの障害に基づき社会へ提言する全国大会を初めて開いた。

86人の応募者のうち、決勝に進んだ高等部の生徒7人は、生中継による質疑応答などに臨み、「使用者にあわせて動き、どこにでも持ち込める小型歩行器」を提案した石川県立いしかわ特別支援学校の女子生徒（当時3年生）が優勝した。応援のため、全校生徒が体育館に集まった学校もあり、全国の舞台を経験するとともに、全国の仲間と刺激し合った。

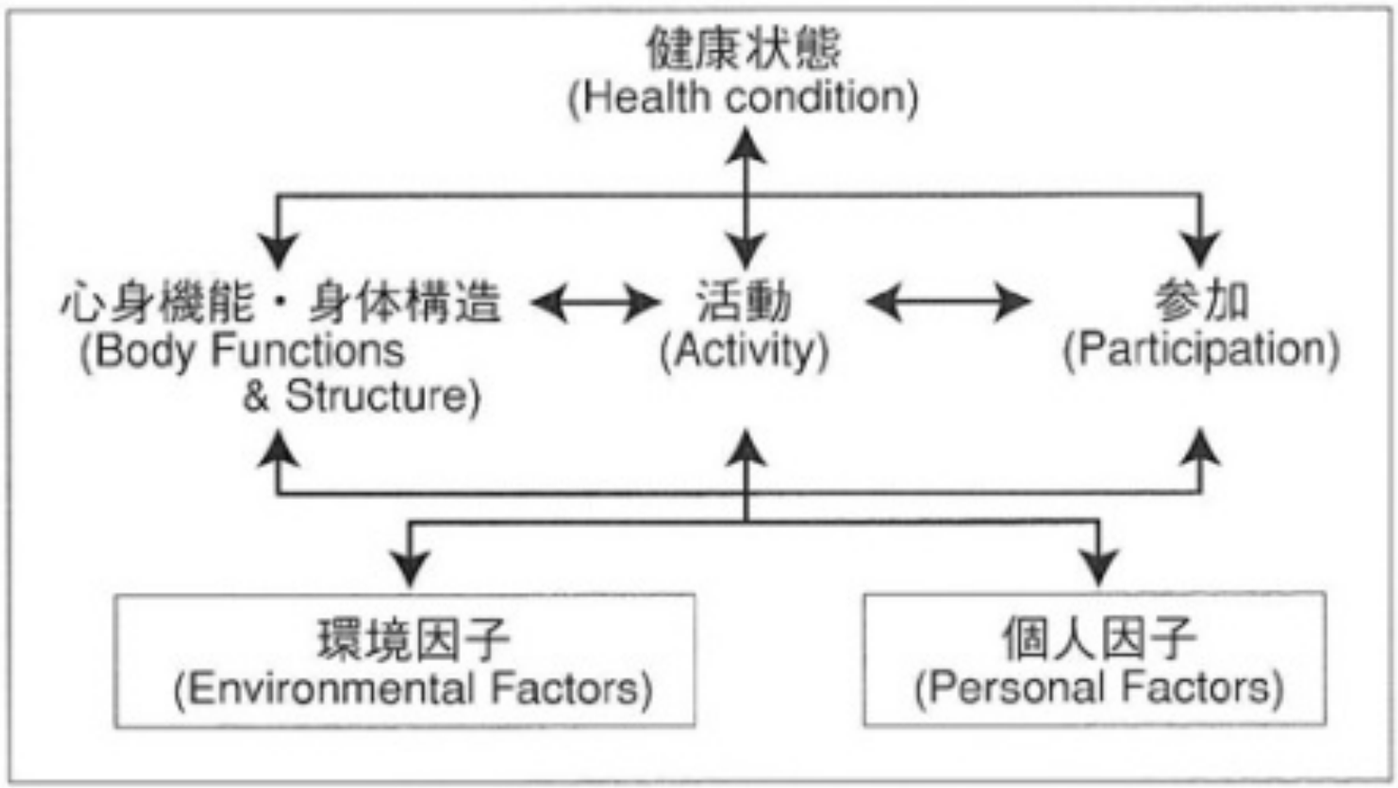
同会事務局は「ICTをうまく使えば、できないと思っていたこともできると生徒に感じてほしい。先生たちが先端技術の活用を考えるきっかけにもなれば」と話している。

※ご意見は〒100・8055読売新聞東京本社教育部（ファクス03・3217・9908、メール kyouiku@yomiuri.com）

国際障害分類初版（ICIDH）から，国際生活機能分類（ICF）へ

ICIDH：WHO国際障害分類（1980）の障害構造モデル

ICF：国際生活機能分類（2001）の生活機能構造モデル



養護から、特別支援へ

ADL（日常生活動作)から、QOL（生活の質）へ

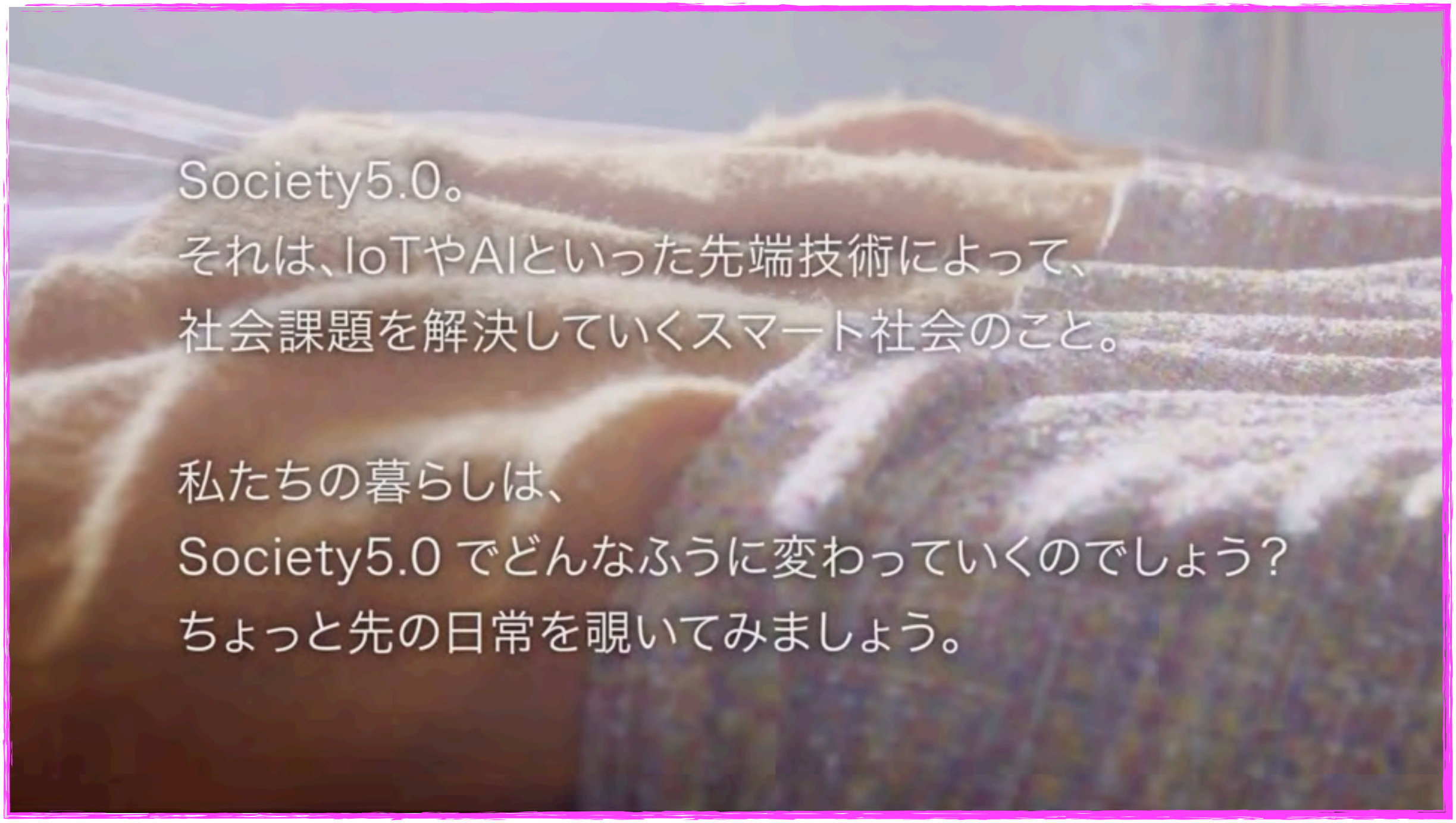
上から守る（養護）ADL

出来ないことを
手伝う

下から支える（支援）QOL

出来るように
支援する

Society5.0（ソサエティ5.0）未来の日本の姿



https://www.youtube.com/watch?v=gevZ2RLW5Yk

狩猟社会（Society 5.0）って？！

狩猟社会（Society 1.0）
農耕社会（Society 2.0）
工業社会（Society 3.0）
情報社会（Society 4.0）

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

年齢・性別に関係なく皆に恩恵

日々の暮らしが
ラクラク・楽しく

必要なモノやサービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合

快適

活力

煩わしい作業から解放され、時間を有効活用

Society 5.0

経済発展と社会的課題の解決を両立

質の高い生活

より便利で安全・安心な生活

[内閣府作成]

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

トーマスとなかまたち：SDGs出発進行

https://www.youtube.com/watch?v=EnFJdqtBkbQ&feature=emb_logo

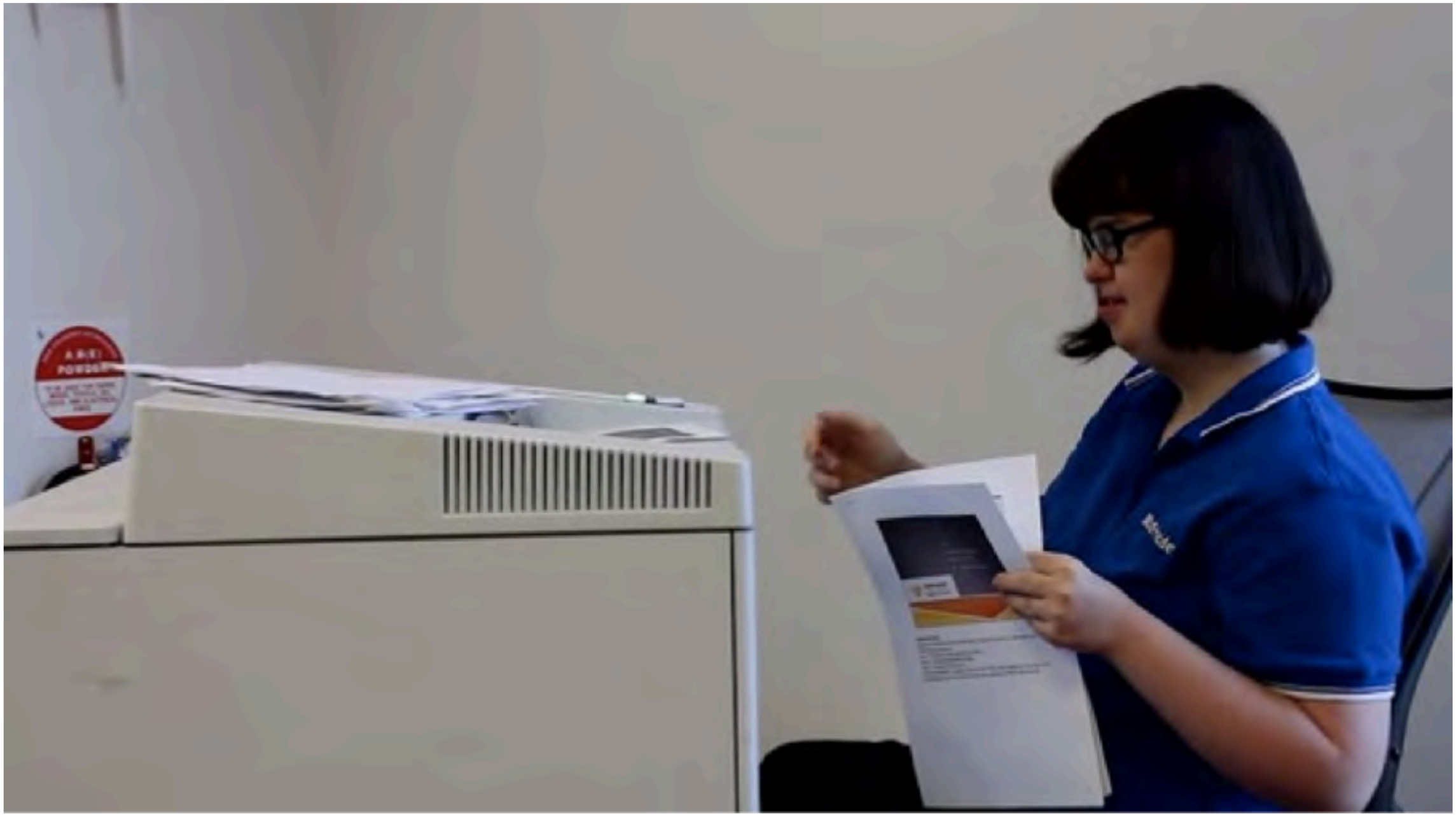
読み書きのできないダウン症の女性。ハンデを武器に「天職」で大活躍

ダウン症などの障がいを患って生まれた21歳の女性、エマ・ライナムさん。そんな彼女は自身のハンディキャップを活かし、素晴らしい「天職」を手に入れたのでした。

オーストラリアのクイーンズランド州に住むエマ・ライナムさん。彼女はダウン症と軽度の自閉症・難聴などを患って生まれました。そのため現在でも彼女は読み書きができず、通常の職に就くことは難しいと考えられていたのです。

しかし転機が訪れました。オフィス業務を体験するという学校のプログラム。そこで彼女は他の業務に興味を示さないものの、シュレッダーだけには夢中になったのです。

読み書きの出来ないエマさんは、どんなに機密の文書を見せても心配がありません。彼女はまさにシュレッダーが「天職」だったのです。



●●●●● au 10:03 100%
jp.wsj.com
THE WALL STREET JOURNAL.
有料会員登録 | ログイン
ホーム 経済 マーケット ビジネス テクノロジー 国際 日本 オピニオン・社説 ライフ バロンズ

ビジネス

自閉症者を積極採用―独SAPや米フレディマックの取り組み

SAPで働くアスペルガー症候群のパトリック・プロフィーさん（右）と同僚で世話役のデービッド・スウィーニーさん CIARAN DOLAN FOR THE WALL STREET JOURNAL

By SHIRLEY S. WANG

2014 年 3 月 31 日 14:30 JST

原文 (英語)

【ダブリン】一部の雇用主は、自閉症の人々が職場にとってマイナスの

SPECIAL ADVERTISING SECTION

注目記事ランキング

1. トランプ氏に一歩も譲らず、一匹狼マケイン議員
2. トヨタ、世界最大に変わりなし
3. トランプ氏、入国禁止に反旗翻した司法長官代理を解任
4. トランプ大統領の入国拒否、何が狙いか？

http://jp.wsj.com/articles/SB10001424052702303702904579472530809527894

Concept

開催概要

障害者就労支援プロジェクト「はたらく NIPPON！計画」の一環として、重い身体障害があってもリモートで就労・社会参画ができるということのモデルを示す。

重度障害、入院や距離など、これまで労働が難しかった人がリモートで分身ロボットを動かして働くカフェを実験的に行うことにより、遠く離れた場所から肉体労働、接客が可能となることを実証するとともに次回につながる課題を発見する。

ダウン症

ADHD

ASD

引きこもり

聴覚障害

視覚障害

重度心身障害

Chapter 3

学習に立ちはだかる壁

当事者と支援者は相反する関係？！

ICFの観点からも環境の変更が最優先

壁（困り）の超え方

子どもの負荷

周囲の負荷

高い

低い

本人の努力

よじ登る（訓練する）

合理的配慮

持ち上げてもらう（力を借りる）

回避する（代替手段）

基礎的環境整備

壊す（ルールを変える）

社会変革・支援者の意識改革

超えずに済ます（価値観を変える）

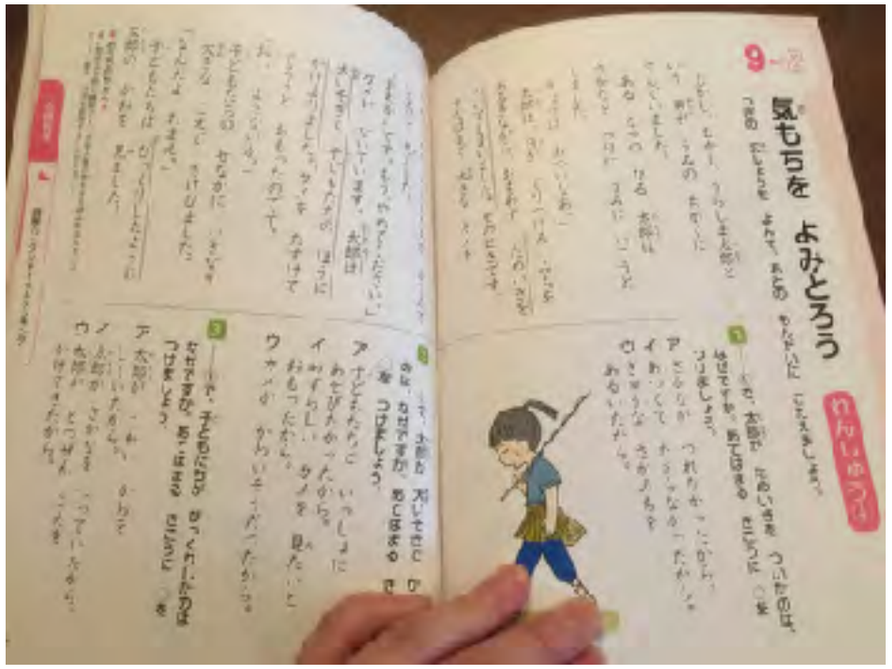
低い

高い

Trade-off　⇒　Win-Winへのパラダイムシフト

よじ登る（訓練する）

とにかく自力で目の前の壁を超える



持ち上げてもらう（力を借りる）

壁を低くして自力で超えやすくする

いのちの たんじょう

いのちの たいせつさに ついて かんがえましょう。

Q. おとうとの たんじょう

ちえさんの いえに、あたらしい いのちが うまれました。

おとうさんは、まっ白な かみに 名前 健太 と かきました。

ちえさんは おとうさんに ききました。

「なぜ、健太と いう 名まえを つけたの？」

「おとうさんと おかあさんが はなしあって、けんこうな 子に そだって ほしいと おもって つけたんだよ。」

健太は、かわいい 手を うごかして います。

そっと 手に さわって みると、やわらかくて あたたかです。

44-2 45-1

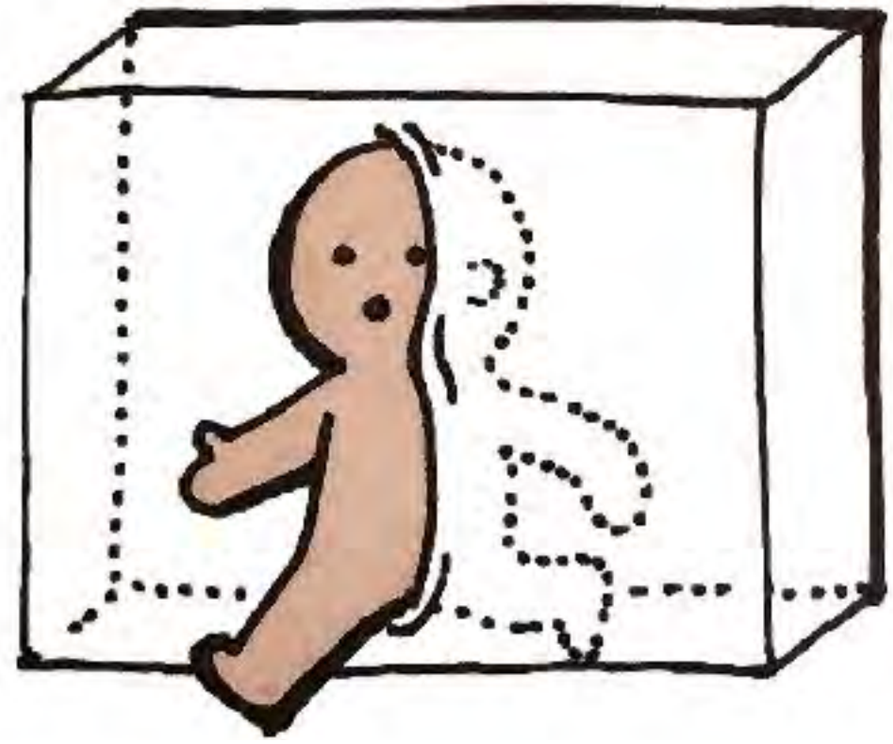
44-1

回避する（代替手段）

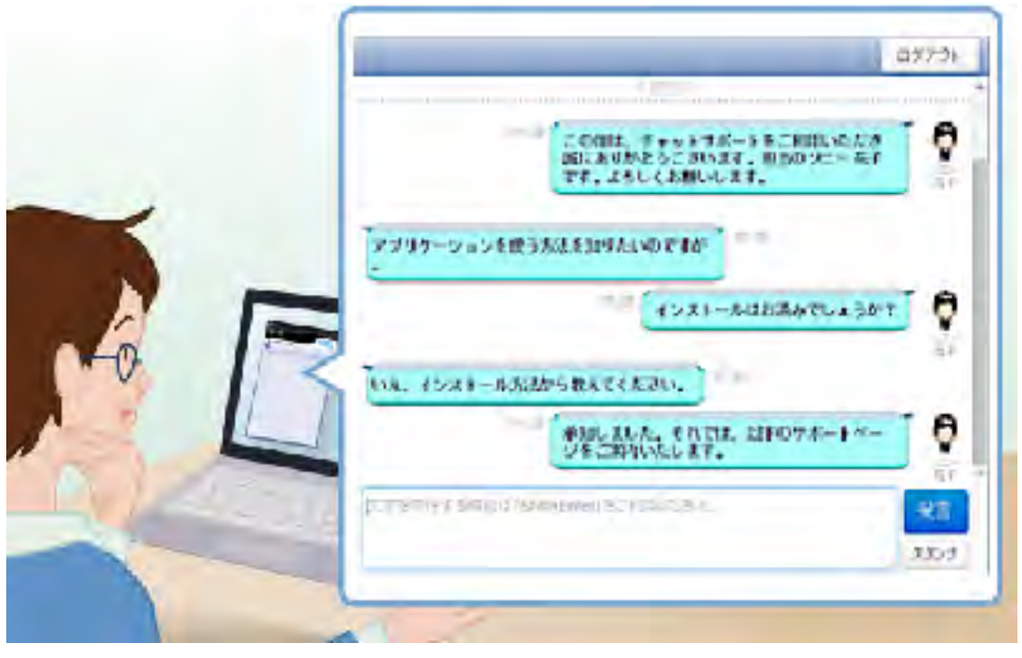
壁を迂回して自力で壁の向こうへ

壊す（ルールを変える）

壁じゃなかったんだ！



座ってられなくても・・



顔を見て話せなくても・・

超えずに済ます（価値観を変える）

そもそも壁（困り）だったの？！

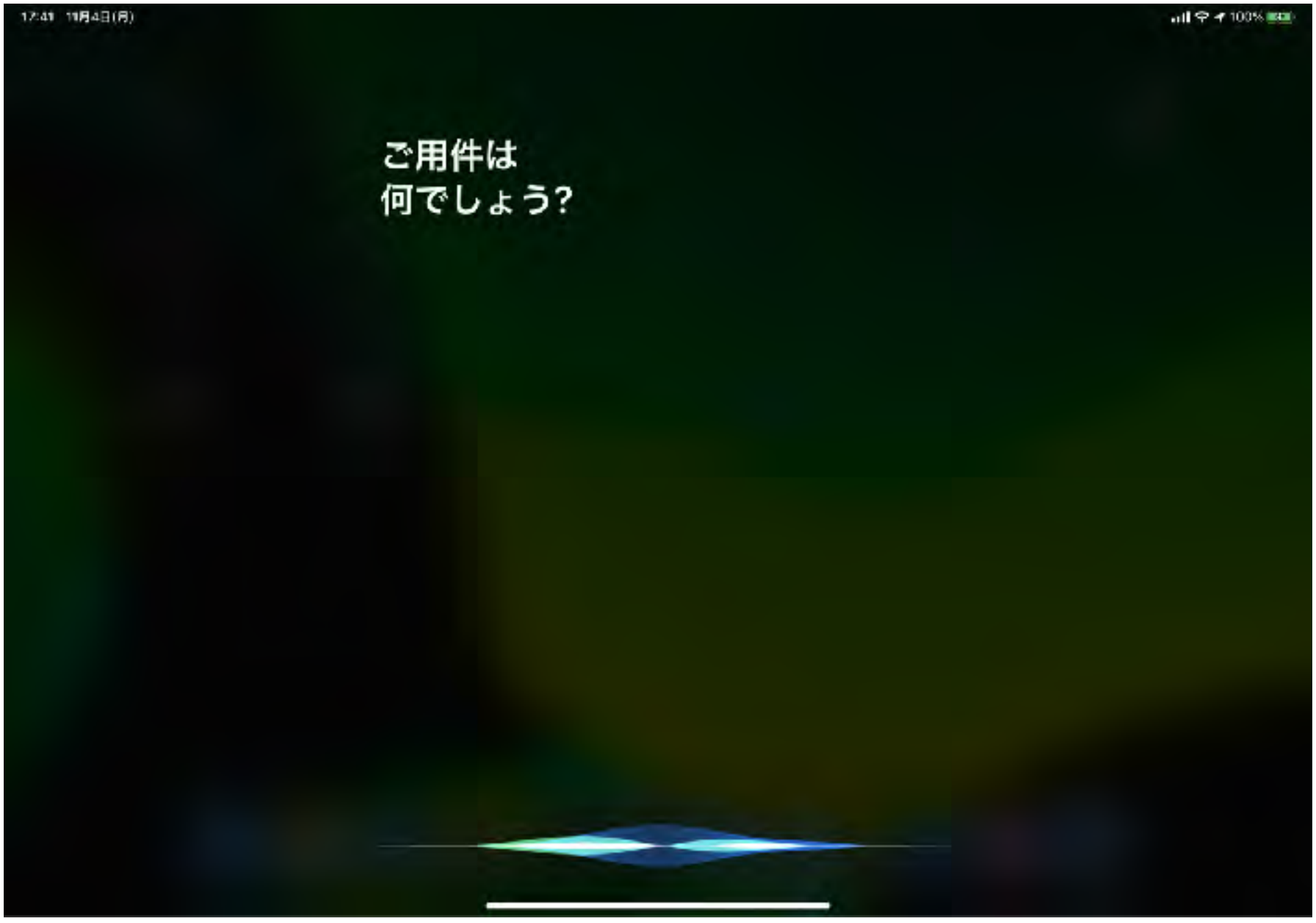
文字の読み書きが出来ない

文字って何？

時と場所を超える！

読むことは情報を入手する一つの手段です
読めたほうが良いに決まっているが、便利さの違いです
便利さは人によって違います
読めなくても聞けば入手できる

書くことは情報を出力する一つの手段です
書けたほうが良いに決まっているが、便利さの違いです
便利さは人によって違います
書けなくても話せば出力できる



バーバルコミュニケーション
と
ノンバーバルコミュニケーション

まとめ

子どもたちに
させたい事・言わせたい事ではなく、

⇓

子どもたちが
したい事・言いたい事を

支援者の引き出しが
増えないと

⇓

子どもたちの
選択肢（依存先）は増えない

支援者の負荷が
増えると（頑張れば）

⇓

子どもたちの負荷は
減る（楽できる）

「この子らを世の光に」

「この子らはどんな重い障害をもっていても、だれと取り替えることもできない個性的な自己実現をしているものである。人間と生まれて、その人なりに人間となっていくのである。その自己実現こそが創造であり生産である。私たちの願いは、重症な障害をもったこの子たちも立派な生産者であるということを、認め合える社会をつくろうということである。『この子らに世の光を』あててやろうという哀れみの政策を求めているのではなく、この子らが自ら輝く素材そのものであるから、いよいよ磨きをかけて輝かそうというのである。『この子らを世の光に』である。（「糸賀一雄著作集３」より引用）

ATDS

Assistive Technology Dissemination Society

NPO法人支援機器普及促進協会

http://npo-atds.org

https://www.facebook.com/takamatsu.takashi